

授業科目	総合臨床実習3 (作業)	4 学年・前期・7 単位 (315 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	中村裕二 (保健医療学研究棟 E503 号) e-mail : yujin@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員
担当教員	作業療法学科教員全員	
概要	3 年次までに学習した作業療法の知識と技術を用い、3 領域(身体障害・精神障害・発達障害・高齢期障害いずれか)の臨床実習指導者の指導のもとで、それぞれ6 週間の作業療法臨床を実際に経験する。具体的には、作業療法対象者1～2 名を臨床実習指導者の指導の下で補佐として担当し、作業療法過程の評価から治療に至る一連のプロセスを経験する。	
到達目標	1. 作業療法の対象者に対して、適切に作業療法プロセスを実施できる。 2. 臨床の場で適切に作業療法を実施するための基本的な知識と技術を習得する。 3. 臨床の場で実施した作業療法プロセスを適切にまとめ報告することができる。	
評価	臨床実習指導者による評価(70%)と、教員による大学でのセミナー報告内容の評価(30%)を総合し判定を行う。	
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として遅刻、欠席、早退は認められない。正当事由によりやむを得ない場合は事前連絡する。</li> <li>・詳細は事前配布する「実習要項」で確認する。</li> <li>・総合臨床実習実施に当たっての事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。</li> </ul>	

内 容 ・ 方 法	
実習方法	臨床実習施設での臨地実習。身体障害・精神障害・発達障害・高齢期障害いずれか3 領域で、臨床実習指導者の指導のもとそれぞれ6 週間の作業療法臨床を実際に経験する。臨地実習終了後、大学で実習で経験した作業療法プロセスをセミナー形式で発表する。
実習期間	8 月～9 月の間で6 週間の実習と1 週間の大学でのセミナーを行う。
実習場所	未定
実習時間	基本的に9:00～17:00 である。ただし実習施設の就業時間や学習状況により変化する。
実習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床実習施設の概要や各関連職種の業務を把握する。</li> <li>2. 対象者に対する作業療法評価および治療目標の設定、治療計画の立案を行う。</li> <li>3. 対象者に対する作業療法を実施する。</li> <li>4. 作業療法の実施経過のまとめと再評価に基づいた効果の検討を行う。</li> <li>5. 6 週間の作業療法プロセスをレポートにまとめ、セミナーでの検討資料の作成を行う。</li> <li>6. 大学でセミナー発表と討論を行う。</li> </ol>